

第 81 回全国健康保険協会香川支部評議会議事録

開催日時：令和 7 年 1 月 14 日（火）10：00～12：00

開催場所：リーガホテルゼスト高松 翡翠

評 議 員：長山評議員（議長）、西尾評議員、原田評議員、藤井評議員、
藤岡評議員、古屋評議員（副議長）、松木評議員、三好評議員
（欠席）芳我評議員

（五十音順）

議事

○協議事項

1. 2025（令和 7）年度都道府県単位保険料率について
2. 2025（令和 7）年度支部事業計画（案）及び支部保険者機能強化予算（案）について

○報告事項

1. 2024（令和 6）年度香川支部保険者機能強化予算の変更について
2. インセンティブ制度に係る 2023（令和 5）年度実績について

○その他

- ・活動報告
- ・協会けんぽ香川支部の概要

○協議事項

協議事項 1. 2025（令和 7）年度都道府県単位保険料率について

【事務局より資料に基づき説明】

【学識経験者】

地域性により医療費に差が生じ、都道府県単位保険料率に反映されることはやむを得ないと考える。

【議長】

令和 7 年度の香川支部保険料率 10.21%について妥当であるとしてよいか。

（異議なし）

協議事項 2. 2025（令和 7）年度支部事業計画（案）及び支部保険者機能強化予算（案）について

【事務局より資料に基づき説明】

【学識経験者】

マイナ保険証について、マイナンバーカードを持っていない方は資格確認書が発行されるのか。

【事務局】

マイナンバーカードを持っていない方、保険証の利用登録をされていない方には、資格確認書を発行している。

【被保険者代表】

マイナ保険証について、従来の健康保険証と同様に介護老人保健施設等で成年後見人などがマイナ保険証を預かって利用することは可能なのか。

傷病手当金と障害年金の支給調整について、マイナンバーによる情報連携はなされているのか。

医療費適正化について、被保険者個人に働きかける取組が多いが、医療機関に対しての取組はあるのか。

令和8年度以降、人間ドックへの費用補助なども開始されるようだが、健診の推進等健康づくり事業について、医療費抑制の効果検証は行っているのか。

【事務局】

1点目について、医療保険者へ通知は示されていないと考えるが、確認できた段階でご説明させていただく。

2点目について、現在も基礎年金番号により年金支給記録と健康保険の資格の情報連携を実施して支給調整をしている。

3点目について、医療機関に対する取組は、レセプトの内容点検等により適正な保険請求の確認を行っている。

4点目について、健診結果や医療費のデータを分析し支部の課題抽出をしているが、健診や健康づくり事業による医療費抑制の効果検証までは至っていない。

【事業主代表】

欧米諸国など先進国のジェネリック医薬品使用割合はどのくらいか。

以前は、安価な薬や同一疾病の薬でメーカーが異なると効果効能が違う印象があったが現状はどうか。

ジェネリック医薬品は供給不足という印象があるが、製薬会社の経営の観点から製造していないというようなことはあるのか。

【事務局】

1点目について、次回評議会で資料により説明します。

2点目について、ジェネリック医薬品は先発医薬品の特許が切れた後に同じ有効成分を同量含み、同等の効能があると認められている薬であると認識しています。

3点目について、製薬会社が経営の観点から製造量の調整をしないという事象については承知していない。また、協会本部が加入者利益の確保から日本ジェネリック製薬協会へ、ジェネリック医薬品に対する信頼回復や安定供給への改善について申し入れや説明会を実施している。

(支部事業計画、保険者機能強化予算案について異議なし)

○報告事項

報告事項1. 2024（令和6）年度香川支部保険者機能強化予算の変更について

【事務局より資料に基づき説明】

(質問・ご意見なし)

協議事項2. インセンティブ制度に係る2023（令和5）年度実績について

【事務局より資料に基づき説明】

(質問・ご意見なし)

○その他

活動報告、協会けんぽ香川支部の概要

【事務局より資料に基づき説明】

(質問・ご意見なし)

以上

令和7年1月14日